

自衛官の処遇・勤務環境の改善及び

石破内閣総理大臣の指示により設置された「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議」における4回の議論を経て2024年度に取りまとめられた、「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する基本方針」の一例を紹介します。



第3回自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議【内閣広報室提供】

1 自衛官の処遇改善

一例

自衛官が誇りと名誉を得ることができるような、令和の時代に相応しい処遇を確立する必要があり、過去に例のない**30を超える手当の新設・金額引き上げなど**を決定

給与面の処遇改善

- ・自衛官の俸給表を改定予定
- ・特殊な業務に対する手当を充実

新設 航空管制業務を担う自衛官への手当(航空管制官手当)
【一例】1尉の場合：月額約**32,000円**

など

士の処遇改善

- ・新たな任期制士を創設
- ・進学支援給付金や自衛隊奨学生制度も拡充

新設 入隊し、営舎内又は艦艇内に居住する者に対する給付金(指定場所生活調整金)

採用後6年経過するまで、毎年20万円を支給 **6年総額120万円**
など

予備自衛官等の処遇改善

- ・手当の引上げ
- ・訓練に参加しやすくするための支援・制度整備

引上げ 予備自衛官手当や訓練招集手当の引上げなどにより
1任期(3年)あたりの支給額を引上げ

(現行) 約27万円 ➡ (改定後) 約68万円

など

新たな生涯設計の確立



詳しい取組内容は
こちら！

2 生活・勤務環境の改善

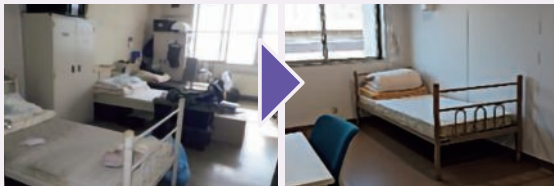
一例

やりがいと働きやすさの向上、若い世代のライフスタイルにあった生活・勤務環境の構築により、働きがいを感じられる環境を構築

営内隊舎の居室の個室化

プライバシーに配慮し、陸上自衛隊は2025年度、海上・航空自衛隊は2028年度に整備完了を目指して、間仕切りなどによる個室化を推進

など



大部屋

個室化後（イメージ）

通信環境の整備の推進

駐屯地・基地などでの無線LAN環境の拡充とともに、2027年度までに主要艦艇において、インターネットの閲覧などを可能とする通信環境を構築

など



艦艇において携帯電話で
番組などを視聴する隊員

無線LAN環境を活用して
勉強する隊員

3 新たな生涯設計の確立

一例

一般職公務員よりも若年で退職する自衛官の退職後の収入を確保し、引上げていくとともに、自衛官が安んじて国防の任務に精励できるよう、これまで以上に充実した生涯設計の確立

知識・技能・経験を活かした再就職先の拡充等

- 円滑な再就職や再就職賃金の充実などを実現すべく、**関係省庁と防衛省が連携して幅広い業界や経済団体に働きかけ**を行い、再就職先を拡充
- 警察、消防、海上保安庁、矯正部署など、様々な**公的部門における一層の活用推進**

など

若年定年退職後の国からの給付水準

再就職先の拡充および再就職賃金の充実などを図りつつ、部外の専門家の意見を踏まえ、2026年度から施行することを目指し、**若年定年退職者給付金^{*}の給付水準の引上げ**を検討

※若年定年制から生ずる不利益を補うために、自衛官の退職後に支給される政策的給付

など

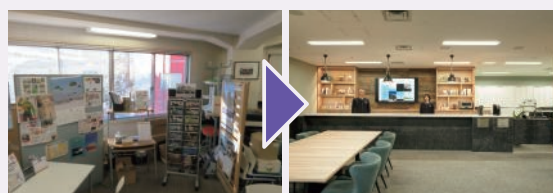
4 その他

一例

自衛官等採用推進のための広報・募集強化

SNSなどの募集広報の推進、地方協力本部の態勢充実

など



募集拠点の効果的な立地への移転

自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立

近年の生活・勤務環境の改善状況に関して、自衛隊の現場の隊員の声を聴きます。

1 主な具体的施策の今後の進め方（イメージ）

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降
処遇改善	指定場所生活調整金新設に関する法案検討	自衛官の俸給表改定に関する部外の専門家による検討	法案検討		俸給表の施行
	自衛官任用一時金引上げに関する政令改正	不慣れな営舎内生活などに対する給付金（指定場所生活調整金）を支給			
	新たな任期制士の創設に向けた法案検討	自衛官任用一時金の引上げ			
		体制整備	新たな任期制士を採用（自衛官候補生制度を廃止）		
生活・勤務環境改善	マネジメント能力向上教育およびエンゲージメントサーベイの試行	試行を踏まえた改善		組織文化の改革を継続的に実施	
	営舎外許可基準緩和に向けた規則改正	既存隊舎の居室の個室化（陸自はR7、海・空自はR10完了予定）			
	陸自駐屯地のすべての生活隊舎に無線LAN環境を整備	営舎外許可基準の緩和			
		主要艦艇における通信環境を整備			
新たな生涯設計の確立		女性用区画、女性用トイレ・浴場などの整備（R12までに女性自衛官の割合を12%に増加）			
		関係省庁と防衛省が連携して幅広い業界や経済団体に働きかけることによる再就職先拡充			
		地方公共団体の防災・危機管理部門における退職自衛官の採用の拡大、安定的な雇用と処遇の確保			
		65歳に至るまでの再就職の援助を可能とするための制度整備	体制整備	援助開始	
		R10年度以降の定年の引上げに向けた検討の実施			定年の引上げ
		若退金に関する部外の専門家による検討	法案検討	若年定年退職者給付金の給付水準の引上げ	
	人的基盤の強化を担う室の設置		人的基盤の強化を担う室による施策の検証・フォローアップ		

3 生活・勤務環境の改善に関する海上自衛隊員の声



練習艦隊における訓練風景①

2024年度遠洋練習航海に実習幹部として参加しました。座学中心の幹部候補生学校から実習中心の遠洋練習航海へと環境が大きく変わりましたが、実習に特化した練習艦で操艦訓練、航海直当訓練をはじめとする各種訓練を繰り返し行い、長期間洋上にいる艦艇での生活に慣れ、部隊勤務に必要な力を身につけてきました。訓練以外の時間では、艦上体育を行ったり艦内イベントに参加したりとメリハリのある生活を送ることができました。遠洋練習航海では、訓練や生活のいたるところに新たな学びがあり、非常に充実した日々を過ごしました。

また、今年度は試験運用で搭載され

た「スターリンク」通信により、洋上でも家族とSNSを使用して連絡を取ったり、YouTubeにアップされた家族の様子を動画で見ることができました。長期間の出港でしたが、個人の端末を使用して家族と定期的な連絡を取り、また、日々の様子を見て身近に感じることができたため、安心して勤務に従事することができました。

充実した実習環境で得られた経験を十分に活かし、国防に貢献できるよう今後の勤務に邁進してまいります。



練習艦隊における訓練風景②

2等海尉 野島 優希子
 ① 護衛艦きりしま
 ② 横須賀地区(神奈川県横須賀市)
 ③ 通信士



詳しい取組内容は
こちら！

2 陸自の生活勤務環境の改善状況



整備された調理室で囲らする筆者(左)

員が快適に過ごせるように生活・勤務環境を改善していくと聞いています。生活環境の向上により、モチベーション高く任務に集中でき、プライベートも快適に過ごすことができます。

私は2022年から八尾駐屯地で勤務し、駐屯地内にある女性自衛官隊舎で生活しています。

2023年以降、隊舎の改修により浴場やトイレ等の水回り、冷暖房などが改善されました。

また、居室の家具がおしゃれに更新され、家具とマッチするようにカーペットと壁紙も刷新されており、自分好みの部屋となっています。

さらに、設置されたWi-Fiを利用してオンライン座学による自己啓発が行えます。

今後も防衛省・自衛隊全体で隊



筆者がWi-Fiを使用しながら勉強している様子

陸士長 みなみ のりえ 南 憲恵

1 中部方面航空隊

2 八尾駐屯地(大阪府八尾市)

3 航空科

4 車力分屯基地における生活・勤務環境の改善に向けた取り組み



個室化前の生活隊舎居室

ことができるようになりました。加えて、Wi-Fiも利用できるようになって本当に快適です。また、最近の青森県における夏の暑さは大変厳しいことから、生活隊舎や職場にエアコンが設置されるなど、生活・勤務環境は格段に向上しています。

プライベート空間の確保は大変ありがたいですが、同じ隊舎に生活する隊員同士の心の距離が遠くならないよう、コミュニケーションをとり、明るく楽しい雰囲気を作っています。私を迎えてくれた先輩方のように、人に温かい車力分屯基地を目指し、勤務に励みたいと思います。

私は2018年に車力分屯基地に配属されました。術科学校から赴任を命じられた際は、「車力ってどこ？」というのが正直な感想でした。赴任後、何もわからず戸惑う私を、基地の先輩方は温かく迎えてくれました。ただ、老朽化した施設や設備がとても気になりました。聞けば、基地開設当初の昭和55年から使用しているものもあり、決してきれいとは言えませんでした。また、複数の隊員が一つの居室で生活することにも、なかなか慣れることができませんでした。

それから約7年が経過した今、車力分屯基地は生まれ変わりつつあります。生活・勤務環境の改善が進んでおり、まずは、生活隊舎の居室に間仕切りが設置され、プライベート空間が確保できるようになり、勉強や趣味に集中して取り組む



個室化後の生活隊舎居室

3等空曹 おおむら そら 大村 空

1 北部高射群第21高射隊

2 車力分屯地(青森県つがる市)

3 高射機械整備

◆ 自衛隊の仕事図鑑



陸上自衛隊の職種一覧



普通科

地上戦闘の骨幹部隊として、機動力、火力、近接戦闘能力を有し、作戦戦闘に決着をつける重要な役割を果たします。



特科 (高射特科)

対空戦闘部隊として侵攻する航空機を要撃するとともに、広範囲にわたり迅速かつ組織的な対空情報活動をを行います。



施設科

戦闘部隊を支援するため、各種施設器材をもって障害の構成・処理、陣地の構築、渡河などの作業を行うとともに、施設器材の整備などを行います。



機甲科

戦車部隊、機動戦闘車部隊、水陸両用車部隊および偵察部隊があり、戦車などの正確な火力、優れた機動力および装甲防護力により、敵を圧倒撃破するとともに迅速に機動します。



情報科

情報に関する専門技術や知識をもつて、情報資料の収集・処理および地図・航空写真の配布を行い、各部隊を支援します。



システム通信科

各種通信電子器材をもって部隊間の指揮連絡のための通信確保、電子戦の主要な部門を担当するとともに、写真・映像の撮影処理などを行います。



特科 (野戦特科)

火力戦闘部隊として大量の火力を随時随所に集中して広域な地域を制圧します。



航空科

各種ヘリコプターなどをもってヘリ火力戦闘、航空偵察、部隊の空中機動、物資の輸送、指揮連絡などを実施して、広く地上部隊を支援します。



武器科

火器、車両、誘導武器、弾薬の補給・整備、不発弾の処理などを行います。

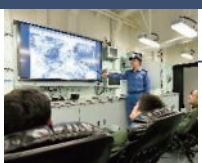


海上自衛隊の職域一覧



射撃

護衛艦などにおいて、砲、ミサイルを操作し、各種目標に対する攻撃を実施します。また弾火薬などの取扱を実施します。



気象・海洋

気象・海洋観測、天気図類の作成、気象・海洋関係の情報の伝達に関する業務を行います。



飛行

P-3C/P-1哨戒機、US-2救難飛行艇、SH-60J/K/L哨戒ヘリコプターなどの搭乗員として飛行任務を実施します。



通信

陸上基地、艦艇および航空機などの通信、暗号の作成および翻訳、通信機材・暗号器材および関連機材の操作整備を行います。



航海・船務

航海は、艦艇の艦橋において航海に関する業務を実施します。船務は、レーダー・電波探知機などを活用し、戦術活動を実施します。



機関

エンジン（ガスタービン、ディーゼルなど）発動機などの運転、整備および火災、浸水対処などを業務とします。



水雷

護衛艦、潜水艦で魚雷などの水中武器、ソナーなどの水中搜索機器を操作し、潜水艦の搜索、攻撃および器材の整備を行います。



給養

艦艇および陸上部隊において、隊員に対する給食業務を実施します。



航空機整備

航空機の機体、エンジンおよび計器ならびにこれらを維持するための器材などの整備、修理、補給などに関する業務を行います。



航空自衛隊の職種一覧



操縦

戦闘機、輸送機、偵察機および政府専用機などを操縦し、防空、航空偵察、航空輸送および航空救難などを行います。



高射

侵攻してくる弾道ミサイルや航空機、巡航ミサイルを撃破するため、パトリオットミサイルシステムの操作および器材の整備を行います。



サイバー・情報通信

サイバー領域の状況監視及びサイバー攻撃等を含む異常発生時の対応を行います。また、情報通信器材を操作し、器材の維持管理などを行います。



航空管制

航空自衛隊の飛行場（共用飛行場を含む）における航空交通管制業務を行います。



電算機処理

電子計算機および関連機材の操作やプログラムの作成、電子計算機システムの管理を行います。



武器弾薬

航空機に搭載される武器弾薬などの補給、管理、整備を行います。



兵器管制

日本の領空を常時監視し、接近または侵入してくる航空機を早期に発見・識別し、必要に応じて戦闘機の誘導を行います。



気象

航空機の離着陸および飛行安全確保のため、気象観測・予報を行い、各種気象情報を全国の部隊に通報したり、天気図の作成を行います。



航空機整備

航空機のエンジンや搭載する電子機器類、レーダーなどの整備および航空機の定期整備を行います。

自衛隊はいろいろな職種の自衛官と、防衛事務官・防衛技官などによって成り立っています。陸上、海上、航空自衛隊にはきっとみなさんも興味を持つ様々な職種・職域があります。ここではその一部を紹介いたします。まずは「**自衛官適職診断**」から自分に合った職種・職域と見比べてみてください。

自衛隊の仕事が
よくわかる！

自衛官募集
ホームページ



次頁の二次元コードで
動画もチェック！



防衛事務官・防衛技官
などの採用はこちら

陸上自衛隊HP <https://www.mod.go.jp/g sdf/>

需品科

糧食・燃料・需品器材や被服の補給、整備および回収、給水、入浴洗濯などを行います。

警務科

警護、道路の交通統制、隊員の規律違反の防止、犯罪捜査など部内秩序の維持に寄与します。

陸上自衛隊の職種詳細は
こちらからご覧ください



輸送科

大型車両をもって部隊、戦車、重火器、各種補給品を輸送するとともに、輸送の統制、ターミナル業務、道路交通規制などを行います。

会計科

隊員の給与の支払いや、部隊の必要とする物資の調達などの会計業務を行います。

音楽科

隊員の士気を高揚するための演奏や広報活動に関する演奏を行います。

化学科

各種化学器材をもって放射性物質などで汚染された地域を偵察し、汚染された人員・装備品などの除染を行います。

衛生科

患者の治療や医療施設への後送、部隊の健康管理、防疫および衛生器材の補給・整備などを行います。

海上自衛隊HP <https://www.mod.go.jp/ msdf/>

経理・補給

給与・旅費などの計算、物品の調達、部隊の任務を遂行するために必要な装備品などを準備し、供給する業務を実施します。

情報

情報資料の収集、処理および情報の配布、秘密保全などを業務とします。

海上自衛隊の職域詳細は
こちらからご覧ください



航空管制

飛行場およびその周辺を飛行する航空機に対する航空交通管制業務や艦艇において航空機に必要な情報を提供する業務を行います。

地上救難

海上自衛隊の飛行場、また護衛艦に搭載する航空機で発生した火災の対処、搭乗員の救助作業などを行います。

音楽

音楽演奏を通じて隊員の士気を高揚します。また、広報活動に関する業務を行います。

施設

国有財産の管理、建設に係る調整、施設車両・施設器材を用いての建物・工作物等の修繕を行います。

衛生

病院における医療および医務室における健康管理や身体検査を実施するとともに、潜水に関する調査・研究を業務とします。

機雷掃海・潜水

掃海艦艇などで掃海具などを操作し、機雷の処分などを行います。また、潜水により浅海域における機雷・不発弾の処分などを行います。

航空自衛隊HP <https://www.mod.go.jp/ asdf/>

施設

基地内施設の維持管理（土木・建築・電気など）および航空機事故や建物火災など非常時の消火、人命救助などを行います。

警備

基地内巡察などを行い、基地の施設や物品の警戒などを行うほか、基地内・基地出入者の監視などを行います。

航空自衛隊の職域詳細は
こちらからご覧ください



衛生

隊員の健康診断および各種身体検査のほか、医療、環境衛生、食品衛生検査を行います。

音楽

航空自衛隊には5つの音楽隊があり、国の行事や自衛隊の公式行事の時に演奏を行います。

会計

隊員の給与・旅費の支払いや、部隊などの任務遂行に必要な物品などの調達を行います。

補給

航空自衛隊で使用する物品の需給統制、在庫管理、取得出納、保管などを行います。

輸送

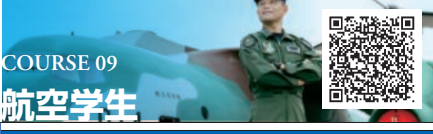
航空自衛隊で装備・使用されている車両で、人や貨物を輸送したり、航空機へ貨物を搭載したりする業務を行います。

宇宙

防衛省・自衛隊の多様な任務に重要な宇宙空間の安定的利用のため、宇宙領域専門部隊において、国内関係機関および米軍と連携して、宇宙状況監視などの業務を行います。

自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立

◆ 理想の未来を実現する多種多様なコース

コース	特 徴	対象年齢
COURSE 01 一般幹部候補生 	防衛大学校卒業者とともに陸・海・空自衛隊それぞれの幹部候補生学校において、自衛隊組織の骨幹である幹部自衛官として必要な知識と技能を学びながら、その資質を磨きます。	26歳未満 大学院卒は28歳未満
COURSE 02 自衛隊奨学生 	各自衛隊の装備品の研究開発分野や法務、語学の分野で活躍する有能な人材を養成するため、大学などにおいて理学、工学、文学(語学)又は法学を専攻している者(今後専攻しようとする者を含む。)から選考により採用して学資金を貸与して修学を助成、卒業後は所定の手続きにより、一般幹部候補生として採用されます。	25歳未満 (大学卒業時26歳未満) 修士課程在学者は27歳未満 (課程修了時28歳未満)
コース	特 徴	対象年齢
COURSE 03 幹部候補曹 	士と曹で約5年間の部隊などの勤務を通じ、一定の知識・技能・経験を培った上で幹部自衛官に任官します。将来は具体的なオペレーションの企画や実行を担う中堅幹部(ミドルリーダー)となります。(令和7年に新設)	20歳以上 33歳未満
コース	特 徴	対象年齢
COURSE 04 防衛大学校学生 	将来、各自衛隊の幹部自衛官となる者を4年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。広い視野、科学的な思考、豊かな人間性を持ち、想像力と活力に溢れる幹部自衛官となるため、知育以外に徳育と体育を重視しています。	18歳以上 21歳未満
COURSE 05 防衛医科大学校 医学科学生 	将来、医師である幹部自衛官となる者を6年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。医師としての知識や技能のほかに、生命の尊厳への理解やあらゆる任務を遂行できる体力も養います。	18歳以上 21歳未満
COURSE 06 防衛医科大学校 看護学科学生 (自衛官候補看護学生) 	将来、保健師・看護師である幹部自衛官となる者を4年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。看護専門職者としての優れた教養・知識・技能の実践を通じて、防衛省・自衛隊の国内外における活動に貢献できる人材を育成します。	18歳以上 21歳未満
コース	特 徴	対象年齢
COURSE 07 一般曹候補生 	部隊の基幹である曹となる自衛官です。入隊後、教育課程や部隊勤務で知識や経験を積み、それぞれの職域のスペシャリストとして活躍します。自衛官の基礎知識はもちろん専門的な技能まで、じっくりと着実に身に付けることができます。	18歳以上 33歳未満 ※採用予定月の1日においての年齢
COURSE 08 自衛官候補生 	自衛官となる為に必要な基礎的教育訓練を経て、任用期間が定められた「任期制自衛官」に任官する制度です。様々な訓練や職務を通じた技術の習得、任期満了後の就職に向けた資格の取得など、希望に合った将来が描けます。	18歳以上 33歳未満 ※採用予定月の1日においての年齢
COURSE 09 航空学生 	海自または空自のパイロットなどを養成します。団体生活を送りながら各種訓練を受け、戦闘機、哨戒機、輸送機、ヘリコプターなどのパイロットなどになることが出来ます。	18歳以上 24歳未満 海上自衛隊航空学生は18歳以上23歳未満
コース	特 徴	対象年齢
COURSE 10 陸上自衛隊 高等工科学校生徒 	高機能化・システム化された装備品を運用する陸上自衛官となる者を養成するための学校です。国際社会においても自信をもって対応できる自衛官を育てます。 ※令和10年度から陸・海・空共同、男女共学の学校になります。	17歳未満 の男子 ※中卒(見込)を含む
コース	特 徴	対象年齢
COURSE 11 予備自衛官補 	社会人や学生といった自衛官未経験者を「予備自衛官補」として採用し、所定の教育訓練を経て「予備自衛官」に任命します。予備自衛官は各種事態において自衛官として任務を果たし社会に貢献します。予備自衛官補には「一般」と「技能」(語学、医療など)のコースがあります。	18歳以上 52歳未満 技能公募はこれに限らず

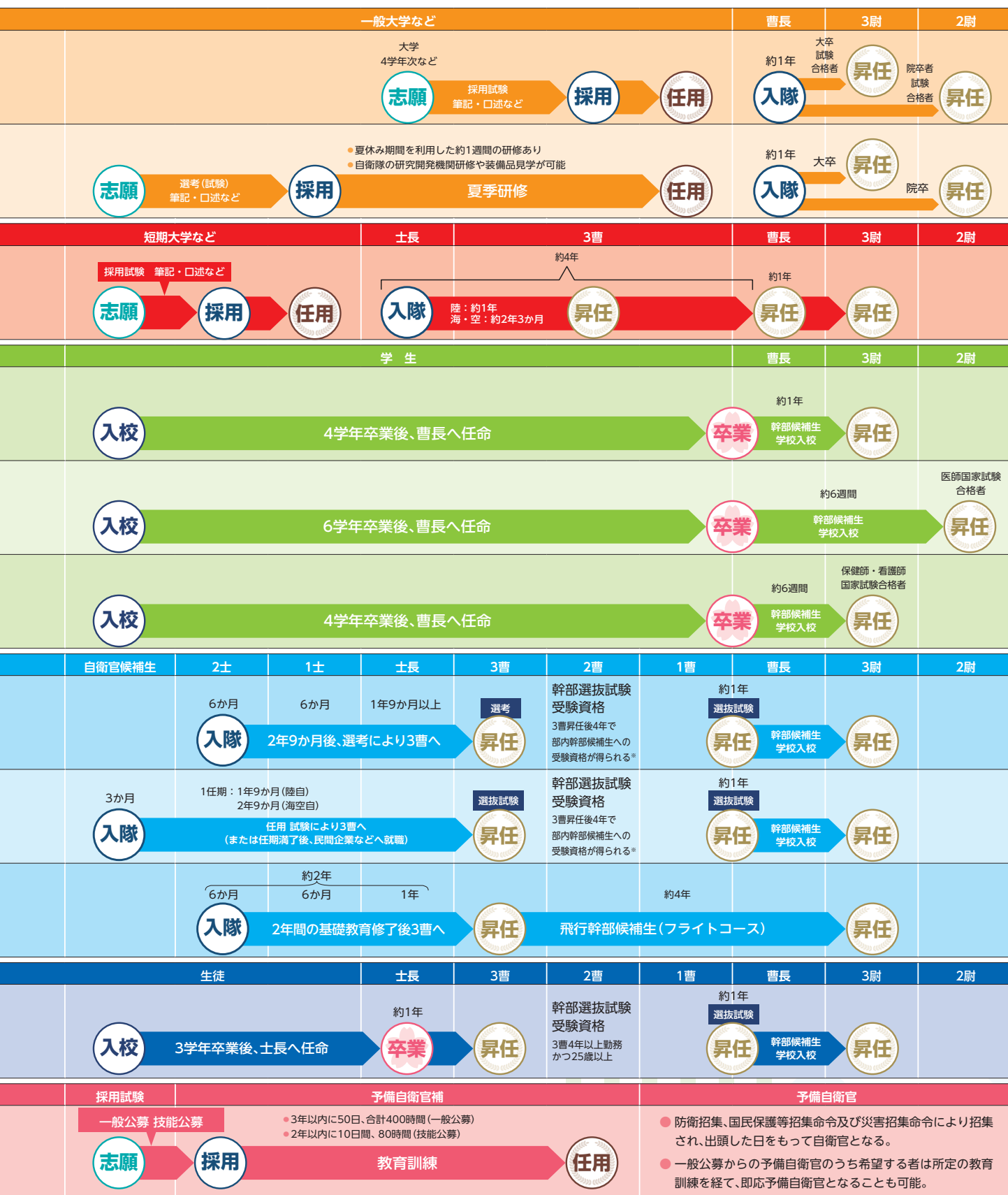
自衛官になるといっても、その進路は多種多様。

「なりたい自分になる」ために、自分の適性や希望に合うものを探してみましょう。

また、防衛省・自衛隊では、多くの防衛事務官や防衛技官なども活躍しています。



防衛事務官・防衛技官
などの採用はこちら



※大卒者については、定める要件を満たす場合、3曹昇任後1年で幹部候補生への受験資格が得られます。